

医療現場 最新情報

「かかりつけ医」として

総合診療内科の役割広がる

辻仲病院柏の葉

幅広い患者さんにプライマリケア（病気の初期治療から長期にわたる治療）を提供する「総合診療内科」が広く利用されている「辻仲病院柏の葉」では、早期診断が可能な「かかりつけ医」として地域住民に寄り添い、地域医療の向上へ邁進中だ。

「総合診療内科」は、一般的な診察だけではなく、CT・MRI検査、超音波検査（エコー）、迅速血液検査などを駆使して適切な早期診断を下すことに力を注ぐ。必要に応じては、近隣の専門病院

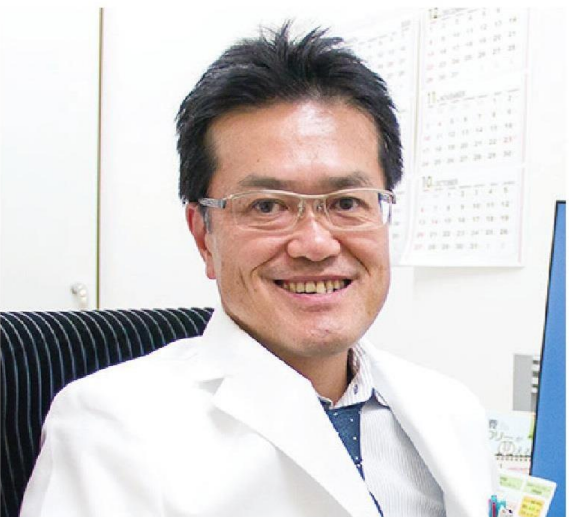
と連携を取り、より専門性の高い病院を紹介することで患者さんからの信頼を得ている。

内科医長の三木健司医師を中心に生活習慣病チームをはじめ、いくつかの専門性を持った医師が常勤として在籍しているので、対応できる範囲も広い。風邪のような一般的な疾患はもちろん、すぐに高度医療を必要とする疾患まで、様々な症状の患者さんに対応。糖尿病などの治療にも一役買っている。

同病院では、少しでも体の不調や不安がある場合、地域の「かかりつけ医」として『お気軽に相談を』と呼びかけている。

柏市若柴1-78-2

柏の葉キャンパス1-48 街区6



内科医長／三木健司 医師

辻仲病院柏の葉

☎04(7137)3737